

ふれあいネットワーク

# ふくい社会福祉

11  
No.364



## 温故知新 ～一途に社協道～



▲海岸に漂着した重油除去作業に多くのボランティアが集結。被害は12市町村に及んだ。(平成9年) ※写真後方がナトカ号の船首部分



▲平成5年9月25・26日の両日、清子内親王のご臨席を賜り、福井市フェニックスプラザ、福井市体育館にて開催された第2回全国ボランティアフェスティバル。

### 福井県内の社協のあゆみ

- H 2 福井県まごころ基金の設置  
社協あり方研究委員会の設置  
市町村長・社協会長合同会議「地域福祉懇談会」開催
- H 3 福井県民児協10周年記念大会の開催  
ふれあいのまちづくり事業の開始  
「ボランティア月間(9月)」の制定
- H 4 県社協に「社会福祉施設部会」を設立  
福井県在宅福祉サービスセンター連絡協議会が発足  
「市町村社会福祉協議会強化の指針」の策定
- H 5 「第2回全国ボランティアフェスティバル『福井』」の開催  
福井県福祉人材センターの開設
- H 6 ふくい中央ボランティアセンターを「福井県ボランティアセンター」に改称
- H 7 兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)への社協職員派遣
- H 9 「公的介護保険制度に関する社協対策検討委員会」の設置  
「ロシアタンカー重油流出事故」におけるボランティア活動
- H10 福井県介護実習・普及センターの開設  
福井県保母会結成40周年記念のつどいの開催
- H11 福井県高齢者・障害者権利擁護センターの設置  
介護支援専門員実務研修の開催

### 全国の動き

- H 2 福祉関係8法改正
- H 3 ふれあいのまちづくり事業(国庫補助)の開始
- H 4 「新・社会福祉協議会基本要項」策定  
福祉人材確保法の成立
- H 5 「福祉人材確保指針」の策定  
全国デイサービスセンター協議会の発足
- H 6 国際家族年  
日本介護福祉士の設立  
エンゼルプランの策定  
新ゴールドプランの策定
- H 7 兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)発生  
障害者プランの策定  
高齢社会対策基本法の施行
- H 9 介護保険法の成立(H12年4月施行)  
「精神保健福祉士法」、「言語聴覚士法」の成立  
「特定非営利活動促進法(NPO法)」成立
- H10 中社審分科会「社会福祉基礎構造改革について」(中間まとめ)を発表
- H11 地方分権一括法の成立  
地域福祉権利擁護事業の開始  
「新エンゼルプラン」、「ゴールドプラン21」の策定

一方、地域福祉活動において住民参加を実現するボランティア活動の振興では、平成2年に、「福井県まごころ基金」を創設し、福祉施設のほか、ボラン

「社協あり方研究委員会」を発足させ、地域福祉の役割を担う市町村社協の取り組みの方向性を示すとともに、平成4年には、「福井県の社会福祉協議会強化の指針」を策定して、地域住民の生活支援を基本に、民間の創造性と弾力性を活かした住民の自主的な活動や先駆的、開拓的福祉サービスの必要性を打ち出した。

### 第五話 協働の力

平成2年、社会福祉関係8法の改正を機に、「市町村」を中心とした福祉制度体系的な「地域福祉の時代」に突入していった。

これを受け、県社協は、「社協あり方研究委員会」を発足させ、地域福祉の役割を担う市町村社協の取り組みの方向性を示すとともに、平成4年には、「福井県の社会福祉協議会強化の指針」を策定して、地域住民の生活支援を基本に、民間の創造性と弾力性を活かした住民の自主的な活動や先駆的、開拓的福祉サービスの必要性を打ち出した。

一方、地域福祉活動において住民参加を実現するボランティア活動の振興では、平成2年に、「福井県まごころ基金」を創設し、福祉施設のほか、ボラン

「温故知新」一途に社協道」  
来年度、県社協は創立60周年を迎えます。今一度、県社協のあゆみを振り返りながら、先人たちの地域福祉への思いをしっかりと受け止めて、これからの地域福祉推進につなげていきたいと考えています。



## 介護の日特集

# 福祉・介護人材確保の現状と課題

2008年度、国は11月11日を介護の日と定め、介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者および介護家族を支援するとともに、地域社会における支え合いや交流を促進し、国民への啓発を重点的に実施しています。

本号では、福祉・介護のサービス提供を担う福祉従事者の人材確保の現状について、その課題と今後の展望について探ります。

## I 福祉・介護分野の雇用をめぐる環境

2007年、厚生労働省は、当時の深刻な人材不足および、将来の要支援・要介護者の増加時の介護者不足への対応が喫緊の課題であるとし、福祉・介護分野の人材確保を図るための新たな指針を発表しました。

国・県の推計では、平成26年には、全国で、150万人〜160万人、福井県では、9,500人〜11,100人の従事者が必要になると言われています。

一方、平成20年秋、米国に端を発した不況の影響を受け、我が国の雇

用情勢も悪化し、多くの失業者が生まれました。

このような中、福祉・介護分野が雇用の受け皿として注目され、国としても多様な人材の福祉分野への参入を促進するため、「介護福祉士などの養成施設の入学者に対する修学資金の貸付制度の拡充」や「働ながら資格をとる介護雇用プログラム事業」を実施したほか、福祉・介護人材確保のための緊急対策事業が実施され、非常に深刻な人材確保難の状態は脱しつつあると言えます。

## II 福祉・介護人材の育成をめぐる環境

福祉・介護の現場の状況は、高齢者分野では認知症ケアや施設の小規模化、多機能化、障がい（児）者分野では地域生活支援や就労移行支援への移行、児童福祉分野では児童虐待への対応や子育て家庭への支援等が進められ、提供すべきサービスが、多様化・複雑化・高度化しています。このようなサービスニーズに対応できる職員を確保するため、専門職としての処遇の確保やスキルアップ

できる環境整備が重要とされ、処遇改善等による定着の促進を目的とした「介護職員処遇改善交付金」や「現任・新規介護職員等の研修支援・養成事業」が実施されました。また、福祉現場の相談援助の質を高めるため、社会福祉士の養成カリキュラムの改正や、介護福祉士の社会的評価を高め処遇改善につなげることを目的とした600時間の教育カリキュラムを創設するなど、人材育成の向上を目指しています。

## 福井県の状況

キャリア支援専門員による事業所訪問から見えること

### ○求人状況 「有資格者の人材不足」

キャリア支援専門員がこれまでに訪問した128施設の中で、62施設（54・4％）では職員数が充足されていましたが、39施設（34・2％）では職員が不足し、職員を募集して

いたり、求人を検討している状況でした。

高齢者分野では、特に小規模多機能型事業所の求人が多く、職員を募集している事業所は64・3％にもなりました。一方、養護老人ホーム、ケアハウス、通所介護等の事業所は、充足率は高くなっているものの、職種によっては慢性的に求人がある状態です。

求人の内容を見ると、求人の雇用条件として施設運営基盤を整える目的で、国からの給付金等が加算される「有資格者を確保する」ための雇用が急激に進み、求人条件に有資格者優先という項目が増える等、介護福祉士、介護支援専門員、看護師等の求人はまだまだ不足状態にあると言えます。

### ○従事者の定着状況 「事業種別によって離職率に差」

平成21年度の事業所訪問時の調査では、離職率が低い事業所は67・6％でしたが、今回の事業所訪問では、80・0％に向上しています。

他産業の一般求人倍率が低迷する中、22年度に入り福祉・介護分野の求人も減少傾向にあり、従事者側も簡単には離職できない状態になっています。

このような社会背景もあり、介護

老人福祉施設と介護老人保健施設では、離職者の多い事業所の比率が、介護老人福祉施設は37・1%↓11・1%に、介護老人保健施設は41・7%↓18・7%へと1/2以下に改善されています。また、養護老人ホーム、ケアハウス、通所介護事業所等も離職率が極めて低い水準で推移する等、定着率の向上が見られました。

しかしながら、小規模多機能型事業所と障害者支援施設では、昨年度より離職率が高くなっており、事業種別によって定着状況にも差が出てきています。

また、職員の待遇改善・グループ研修・資格取得支援等に取り組む事業所が、128施設中87施設(75・7%)あり、それらの事業所については、いずれも定着率が高いということが明らかになっています。

## 「人材確保は制度活用と人材育成がポイント」

平成21年度から福井県福祉人材センターでは、従来の福祉人材無料職業紹介事業に加え、介護人材新規就

業支援事業および介護雇用プログラム事業、いわゆる働きながら資格(ホームヘルパー2級、介護福祉士)を取得することができる事業(県委託事業)を実施し、261名の求職者を福祉・介護分野に導きました。

当該事業を利用した事業所について訪問したところ、採用した職員が定着した事業所では、トライアル期間中を教育期間と捉え、職場内で担当指導者を配置するなど、人材育成に配慮している様子が伺えました。

無資格未経験者が定着するかしなにかについては、事業所が未経験であることを充分認識していたか否かが影響していたと考察します。福祉

・介護分野の人手不足の中、人材を確保しようとする事業所は、制度をいかにうまく利用するかが問われるところでもあります。

## 「求職者指導」の要望高まる

求人のある事業所から「福祉人材センターでの求職者の指導を行ってほしい」という要望を多くいただいています。

求職者の来所面談時には、一人ひとりの状況を慎重に判断し、職業紹介だけでなく、面接対策の指導、体験実習・見学の紹介、資格取得のアドバイス等、ケースに応じた指導を

実施しています。

私たちの活動が求人と求職者のマッチング率のアップに貢献できれば幸いです。

## ■キャリア支援専門員とは

国の「福祉・介護人材の緊急的な確保を図る措置」による福祉・介護人材マッチング支援事業において、福祉・介護人材に関するエキスパートとして、福祉・介護職を目指す求職者にふさわしい職場の開拓と、事業所への働きやすい職場づくりへ向けた指導・助言を行い、円滑な就労・定着を支援しています。

## 11月11日の「介護の日」にちなみ、福井県社協では、次の各種事業を行います。

### ①ふし入門教室の開催

(県福祉人材センター主催)

【日時】11月11日(木)12:30~

【見学先】福井市内老人福祉施設、障害者支援施設の見学等福祉介護の仕事を理解するために開催します。

### ②福祉のお仕事移動相談会・社会福祉施設職場ガイダンスの実施(県福祉人材センター主催)

【日時】11月11日(木)10:00~16:00

【場所】ユニー・アイふくい  
「介護の日」関連行事にあわせて実施します。

### ③腰痛防止のための介護技術実技研修

(県介護実習普及センター主催)

【日時】11月11日(木)①10:00~12:30  
②13:00~14:30

【場所】ユニー・アイふくい  
「介護の日」関連行事にあわせて実施します。

### ④介護のお仕事未経験者体験研修

(県介護実習普及センター主催)

【日時】11月6日(土)~7日(日)9:00~15:00

【場所】福井県社会福祉センター  
【内容】車いすの介助法、身体の動かし方、更衣・排泄等

### ⑤県内11の「介護の日」賛同団体(福井県社協も加入)による街頭PR活動

JR福井駅前、ショッピングセンター等で各団体の参加によりチラシおよびグッズを配布。



## 認知症介護公開講座

(県介護実習・普及センター主催)

【日時】11月13日(土)  
13時30分~15時

【場所】ユニー・アイふくい

【テーマ】認知症の早期発見・早期治療

【講師】

仙台市立病院精神科 認知症疾患医療センター  
医長 高橋 正彦 氏

【入場対象者】講座に関心のある方

【定員】200名



# エコキャップアートイベント

## 小さなエコキャップでつくる大きな輪

今回のフォーラムでは「エコキャップアートイベント」も実施しました。

ペットボトルのキャップは、捨ててしまえばゴミですが、集めてリサイクルすれば、800個で1人分のポリオワクチンを買うことができ、開発途上国の子どもたちの命を救うことができます。

エコキャップアートイベントでは、エコキャップそのものの色を使ってみんなで大きなアートを作りました。みんなでエコなボランティア活動に取り組み、ココロをひとつにしてアートをつくることで、人と出会い、関わり、つながることの楽しさを実感していただきました！

### ◆コンテスト部門

県内の55のチームが「つながり」をテーマに、思い思いのアートをつくりました。

### ◆つながれ！アート部門

県内の17市町社協と県社協が、地域のイベントを通じて住民の方々と「笑顔」をテーマに、アートを作成しました。

as one!

## のボランティアの輪 フォーラム 2010」開催される

（福井市）において、県内のボランティア活動の「つながりフォーラム 2010」が開催されました。事業『つながれボランティアの輪』推進運動（※）を通じて、地域ぐるみの“つながり”や“支え合い”

## のボランティアの輪

## エコキャップアート コンテスト部門 受賞作品

一般投票と実行委員による投票の結果、6チームが受賞しました。



▲表彰式の様子

### エコキャップアート大賞

#### タイトル

つなげよう ホップ ステップ ジャンプ!

#### グループ名

金津小学校3年生

#### 作品の解説

夏休み中、みんなでがんばってキャップを集めました。家族と友達とそして地球のみんなと、つながっていけるといいです。



### いやされ賞

#### タイトル

あったかハートフラワー

#### グループ名

岡保小ボランティア委員

#### 作品の解説

人と自然が互いに守られ、いやされていく…笑顔といやしはつながっているのではないかと考え、作品を作った。



### つながり賞

#### タイトル

いもおやこ

#### グループ名

カルミア春江

#### 作品の解説

さつまいものように、地域のみんなが一本のつるでつながり仲良く暮らしている様子を作品にしました。



### エコキャップアート優秀賞

#### タイトル

若狭おばまマーメイド

#### グループ名

小浜市デイサービスセンター

#### 作品の解説

八百比丘尼は長寿。デイサービスの利用者皆様の健康と長寿を願ひましてこのタイトルとなりました。



### エコキャップアートコンテストにご協賛いただいた企業・団体

- 名鉄観光サービス株式会社 福井支店
- 福井県農業協同組合中央会
- 福井県生活協同組合連合会

## つながれ！アート部門



▲市町と県の社協の18作品が繋がった瞬間

### ランティアー賞

#### タイトル

「PEACE」

#### グループ名

特別養護老人ホーム 藤島園

#### 作品の解説

みんなが手と手を取り合い、一生懸命生きる子どもたちの命を救えたら…という願いを込めて作りました。



### 豊かな自然賞

#### タイトル

We Love 越前2010

#### グループ名

四ヶ浦保育園

#### 作品の解説

保育園から見える美しい自然をみんなで次世代につなごうと園児と心をこめて作りました。



# ふくい・つながりフォーラム 2010

## 「おかげさま」と「お互いさま」

私たち一人ひとりが地域社会の中で生活していくうえでは、自分はいろんな人に支えられて生きている「おかげさま」と、誰でも人や社会のために何かできる「お互いさま」に気づいて、それをボランティアなどの行動へと移していくことが大切です。

こうした個々の行動が、人と人とのつながりを基礎とする地域ぐるみの支え合いを創りだし、そこに住む人たちが安心・安全を実感できる暮らしへとつながっていきます。



## 人と人との“つながり・支え合い”の姿を探る

ワイガヤ・フォーラムでは、「環境」「異文化との共生」「セカンドライフ」「人と活動資源」を切り口に、ボランティア・市民活動をより楽しく取組み、それぞれの目的を効果的に達成していくために、どのような方法やコツがあるのか意見交換を行いました。



続くキックオフ・フォーラムでは、各テーマ別フォーラムでの内容をふまえ、ボランティア・市民活動によって創りだされる“人と人とのつながりの姿”や“支え合いの姿”を探っていました。

人とつながることの楽しさや多様な活動のあり方について、参加者一堂あらためて理解を深めました。



また、同時開催イベントとして、そんな街いいな合唱団とフレッシュ音楽会によるジョイントコンサートや、県内で地域福祉活動を行う団体の取組みをパネルで紹介する「実践活動見本市」、ボランティア体験コーナーなどもあり、会場は多く人で盛り上がりを見せました。

## つなぐれ！80万人のボランティアの輪

ボランティアは決して特別なことでもむずかしいことでもありません。

私たち一人ひとりが、さまざまな人とのつながりの中で、支えられながら生きているからこそ、「誰かや社会のためにできることがしたい」という素直な気持ちが、カタチ（行動）になって、ボランティアへとつながっていきます。

県民一人ひとりが、そんな「つながり」に気づき、ふだんの暮らしの中で、「ボランティアの輪」がつながっていくことを目的に、本会では今後も『つなぐれボランティアの輪』推進運動を展開していきます。

Let's unite

## つなぐれ！80万人の「ふくい・つながりフォーラム」

去る9月23日（木・祝）、フェニックス・プラザに関わる関係者など約500名が参加して「ふくい・つながりフォーラム」は、ボランティア月間制定20周年事業の一環として開催したもので、ボランティア活動を、いっそうパワーアップさせる方法を探りました。

つなぐれ！80万人

### ※『つなぐれボランティアの輪』推進運動について

福井県社協では、ボランティア月間を軸とした6月～9月の期間中、ボランティア・市民活動を通じて「つながり」と支え合う社会の「価値」や「豊かさ」を実感できる県民総参加運動として、「つなぐれ！80万人のボランティアの輪 ～県民一人ひとりが『おかげさま』と『お互いさま』でつなぐ輪～」をスローガンに、『つなぐれボランティアの輪』推進運動を実施しました。

#### <主な事業>

- ・エコキャップアートコンテスト
- ・サマーボランティア体験2010
- ・ボランティア作文コンクール
- ・ふくい・つながりフォーラム2010

### ジョイントコンサート



そんな街いいな合唱団



フレッシュ音楽会

### 実践活動見本市



### バルーンアートづくり



ステージ・ふくい

FIGHT!!

## みんなのガンバリ応援に来て下さい！ ～第4回SELPスキルアップコンテスト～

今年も障害者週間に合わせ、社会就労センター（授産施設等）を利用する障害のある方々が、日頃の活動の成果を披露します。今回4回目を迎え、昨年感動を呼んだ「私の主張」が新たな種目に加わり、現在、各センターでは、参加者がコンテストに向けて練習に励んでいます。

声援や応援が、本コンテストに臨む参加者に、勇気と感動を与えるとともに、これからの活動の一層の励みになります。多くの皆さまのご来場を心からお待ちしています。



**開催日** 平成22年12月9日（木）  
午前10時30分～午後3時30分

**会場** 福井県社会福祉センター（福井市光陽2丁目3-22）

**種目** 私の主張発表部門（自らの思いを一人5分間発表）  
ダイレクトメール部門（ダイレクトメール10セット作成）  
サンドイッチ部門（サンドイッチ2人分作成）  
接遇部門（店頭販売による接客）

### 障害者週間（障害者の日）とは？

障害者週間は、12月3日から9日（障害の日）まで。障害者基本法において、国民の間に広く障害のある人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害のある人が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるために定められたものです。

### 【問い合わせ先】

福井県社会就労センター協議会事務局  
TEL 0776-24-2347

### ご案内 福祉サービス苦情解決機能強化セミナー

本セミナーでは、事業所における苦情解決機能をサービスの質の向上、利用者との信頼関係を深めるものとして捉え、利用者等からの効果的な「想い」の引き出しやその適切な対応等について深めていただきます。是非ご参加ください。

**【日時】** 平成22年12月15日（水）10～16時

**【場所】** 武生商工会館 4F「パレットホール」

**【対象】** 苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員

**【内容】** ○基調報告（福井県運営適正化委員会）

「県内福祉事業所における苦情解決体制整備の状況等について」

○講義（講師：渡部律子関西学院大学教授）

「サービスの質を高め、信頼関係を深める

『苦情等』への向き合い方とは」

○演習（指導：渡部律子関西学院大学教授）

「苦情解決業務等の実際」

**【費用】** 受講者1人につき、2,000円（資料代）

**【メ切】** 本セミナーへの参加を希望される方は、11月15日（月）までに、下記事務局に所定の用紙にてお申込みください。（申込多数の場合は、先着順とします。）

**【お問合せ、お申込み先】**

「福井県運営適正化委員会事務局」

電話（0776）24-2347 / e-mail siawase@f-shakyo.or.jp

### 第37回名士・作家作品展示頒布会 （チャリティーアート展）のご案内

各界でご活躍されている福井県にゆかりのある名士・作家の方々からご寄贈いただいた作品を一堂に展示し、入札により希望者に頒布いたします。頒布会の収益は、民間福祉団体等が行う地域福祉の充実を図る様々な事業の支援に充てさせていただきます。

皆様方のご来場を心よりお待ちしておりますとともに、社会福祉事業へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

**【会期】**

平成22年12月10日（金）～13日（月）  
午前10時～午後6時（最終日は午後4時まで）

**【会場】**

福井県県民ホール（JR福井駅東「アオッサ8階」）

**【展示作品】**

名士・作家のご寄贈による絵画・書・陶芸品・工芸品等多数

**【お問い合わせ先】**

福井県社会福祉協議会 総務企画課

TEL(0776) 24-2339(代) / e-mail somu@f-shakyo.or.jp

主催：社会福祉法人 福井県社会福祉協議会

後援：福井県

寄 贈

福祉巡回車（軽自動車）2台  
 福井県生命保険協会 様  
 贈呈先 大野市社会福祉協議会  
 高浜町社会福祉協議会

福井県生命保険協会（県内 18 社の生命保険会社が加盟）の「地方 C R 活動」（地域貢献活動）の一環として、加盟会社職員の募金による地域福祉の向上を目的とした福祉巡回車の寄贈がありました。



左から湯本生命保険協会会長、椿坂大野市社協会長、萩野高浜町社協会長

11月の行事

- 2日(火) 福井県交通安全県民大会（アオッサ）
- 3日(水) 東海北陸ブロック次世代保育リーダー養成セミナー（金沢）  
 菊花マラソン・チャリティーラン（越前市）
- 6日(土) 福井県心身障害児者福祉大会（中産大）
- 7日(日) 福井県民間保育園大会（生活学習館）
- 9日(火) 東海北陸ブロック福井県地域抱括・在宅介護支援センター連絡協議会研究協議会（～10日三重県）
- 10日(水) 社協の法人後見検討分科会
- 11日(木) 介護の日イメージアップキャンペーン（福井駅前ほか）  
 福井県更生保護功労者顕彰式典（自治会館）
- 13日(土) 認知症介護公開講座（サンドーム）
- 15日(月) 保育セミナー（敦賀市あいあいプラザ）
- 18日(木) 福井県セルフ協研修会（中産大）  
 市町村社協課題解決戦略会議（越前市・池田町）
- 19日(金) デイ協レクリエーション研修（サンドーム）  
 全国保育士研究大会（～20日三重県）
- 20日(土) ボランティア作文コンクール表彰式（アオッサ）
- 26日(金) 県民児協役員会（あわら市）
- 28日(日) 災害時社協相互支援実地訓練  
 福井県母子寡婦福祉大会（生活学習館）
- 29日(月) 福井県地域抱括・在宅介護支援センター連絡協議会独自研修（サンドーム）
- 30日(火) 福井県ホームヘルプサービス事業者協会事業者研修会（サンドーム）

耳の不自由な人、聞こえにくい人のご意見を募集しています！

12月31日まで、聴覚障害者情報提供施設にどんなことを望むか、実態調査にご協力いただける人を募集しています。  
 電話か F A X またはメールか郵便でお申し込みいただければ、アンケート用紙をお送りし、切手を貼った返信用封筒でお答えいただけます。  
 無記名のアンケートでプライバシーは厳守します。

お問い合わせ先

福井県聴力障害者福祉協会 担当：石田  
 〒910-0026  
 福井市光陽 2-3-22 県社会福祉センター内  
 電 話 0776-22-2538  
 F A X 0776-22-0321  
 E-mail deaf-fukui2008@s3.dion.ne.jp

安心を支えます

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

<http://www.fukushihoken.co.jp>



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症（日射病・熱射病）による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震など天災によるケガも補償（天災タイプご加入の場合）

ボランティア行事用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティア活動に関する各種行事におけるケガや賠償責任を補償！

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネージャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償！

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償！

年間保険料 | Aプラン...280円 Bプラン...420円 天災タイプもあります

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、取扱代理店にお問合せください。

お申込み、お問合せはあなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人  
**全国社会福祉協議会**

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一緒にして契約を行う団体契約です。

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社

# 未来に笑顔

## Vol.4 「笑顔の地域づくりに挑む、熱き社協マン」

### プロフィール

こだま まさる  
**児玉 勝** さん

(福) 越前市社会福祉協議会武生事務所  
地域福祉課主任  
毎日、地域住民のよりよい暮らしを考え、地域を駆け回っています！

このコーナーでは、「笑顔（スマイル）」をキーワードに福祉職の方々に登場いただき、福祉の現場で活躍しているからこそ『見える』『言える』、福祉の魅力について語っていただきます。

### 地域の人たちに育てられて

「この仕事に就いたからには、ここで求められる人になりたい！」。福祉の知識も経験もなく社協に入ってから、今でもずっとこの考えは変わっていません。

入局当時、地域の方々から自分の住む地域や暮らしに対する様々な考えを聞かせていただきながら、「福祉の仕事で大切なことは、一人ひとりの話（ニーズ）を聞き、対応することなのかな」と漠然と感じたことを覚えています。

数年前、ある地域で話をさせていたいた時、「児玉さんから『地域福祉は大切なんや』という熱い思いが伝わったわ。」と言われました。

多くの地域の方と関わり、様々な思いや考えを受け止めながら、自分の地域福祉への考えが形になり、地域の方に語ることが出来きたことが何よりうれしく、同時に地域の皆さんに成長させていだいていることを実感しました。

### 苦い経験からの学び

普段から、自分の考えをしっかりと持ちながら、柔軟性のある頭とハートで、まずはその人の言葉に身を置き、話を聞く事を心がけています。「人の言葉に身を置く」ことを大切にするようになった



きっかけは、福井豪雨の時の苦い経験にあります。

当時、僕はボランティアの受け入れを行っていました。その時、リュック一つで駆けつけた女子学生から「テントを張って泊まってもいいですか？」と訊かれ「キャンプ場じゃありませんか？」と言ってしまったのです。もちろん女子学生の身の安全を第一に考えての対応だったのですが、言葉に配慮が欠けていたのだと思います。

その女子学生は、泣いているところを近所の方に声をかけてもらい、泊めていただけたのですが、その家の方に僕の冷たい対応を話されたのでしよう。「被災者のことを思い、来てくれた人の気持ちを無視した失礼な対応ではないか。」とお叱りを受けました。

すぐに謝罪にうかがったのですが、そのまま引き返せばいいものを、当時の僕は、彼女の気持ちを受け止めるより先に、またまた「ボランティアには自己責任が伴うこと」など、マニュアルどおりの話をしてしまい、再び彼女を泣かせてしまいました。

彼女の気持ちを受け止めて話ができれば、彼女の気持ちを傷つけずに対応できたのではないかと、大・大・大反省をしたのです。

### 誰もが主人公になれる地域づくりを

地域活動の担い手が、高齢化していることが気になっています。地域福祉に携わっている一人として、これからは、「福

祉」という枠にとらわれず、子どもや学生など、若い人たちが自然に地域にかかわれる、誰もが主人公になれる地域づくりの仕掛けを考えていきたいと思っています。

そのためにも、お互いの顔が見える身近な地域（公民館単位ぐらいの小地域）で、住民が自分たちのニーズや地域の特性を活かした活動が出来るよう、地域の人たちとさまざまな活動を展開していきたいと考えています。



### 笑顔の素を生み出す18番

僕の周りには、いつも笑いがあつて欲しいと思っています。まわりのみんなの笑顔（笑い）が僕の笑顔の素、そして元気の素です。その笑顔（笑い）が見たいので、今日もどこかで「エキゾチック・ジャパント」（2億4千万の瞳）を歌っているかも知れません。



### インタビュを終えて

経験からの気づきや学びを糧に地域の人とともに、笑顔あふれるまちづくりをめざす児玉さんは、周囲の雰囲気明るくするムードメーカー。一月には社会福祉士試験を控えているとのこと。趣味のランペットとともに頑張ってくださいね。